

# 地震から命を守る

 能美市で震度6強



能美市でも強い地震が  
起こる可能性はあるの？



能美市は震度6弱～6強の地震が起こる  
地域と想定されているんだ。

表層地盤に関するデータ等を分析した結果、能美市では  
震度6弱～6強の地震が起こる地域と想定されています。

10ページの  
「揺れやすさマップ」を  
見てみよう

これが  
震度6弱・6強だよ。  
想像してみて

## 地震の揺れと被害

震度0 ■人は揺れを感じない。

震度1 ■屋内で静かにしている人の中に、わずかに揺れを感じる人がいる。

震度2 ■屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。

震度3 ■屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。

### 震度4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が倒れることがある。



### 震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動し、不安定なものは倒れることがある。



### 震度5強

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚から落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



### 震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下することもある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



### 震度6強

- 立っていることができず、飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体崩壊が発生したりすることがある。



少しでも被害を  
減らすために  
ふだんからできること  
それは…



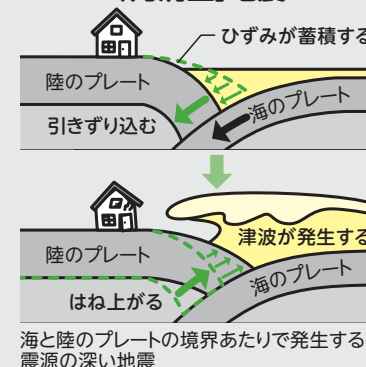
### 震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

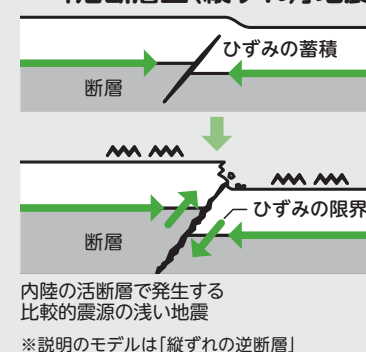


### 豆知識 地震のタイプと原因

#### 「海溝型」地震



#### 「活断層型(縦ずれ)」地震



### ポイント

能美市周辺の主な活断層として、  
「森本・富樫断層帯」があります。

### 特徴

- 森本・富樫断層帯は、石川県河北郡津幡町から金沢市を経て白山市明島町付近(旧石川郡鶴来町)に至る、長さ約26kmの断層帯です。
- 断層帯の東側が西側に乗り上げる逆断層
- マグニチュード7.2程度、震度6弱以上の地震を推定
- 今後30年以内の発生確率は2～8%(国内の活断層の中では高い確率のグループに入ります。)
- 石川県周辺に震源域のある海溝型地震はありませんが、日本海東縁部や南海トラフ沿いで発生する地震で被害を受ける可能性もあります。







地震が起こることが  
先にわかったらいいのになあ…。



「緊急地震速報」が  
強い揺れが始まる前に教えてくれるよ。

気象庁は、緊急地震速報で  
地震による強い揺れを  
事前にお知らせします。  
有効に使って地震から  
身を守りましょう。



緊急地震速報は、このようにして発表されます。

●どんなときに

最大震度が  
5弱以上になると  
予想したとき

震度4以上が  
予想される地域に  
発表されます。

●どのような手段で

テレビ・ラジオ・  
防災行政無線・  
携帯電話や  
スマートフォン  
などで伝達



●どんな音で

専用の報知音  
(チャイム音・ブザー音)で  
知らせます。

あらかじめ試聴して、  
どんな音が知っておくと  
とっさのときに、あわてずに  
命を守る行動につながります。



気象庁ホームページ

どんな音かな？

豆  
知識

緊急地震  
速報のしくみ

※震源に近い地域では、  
緊急地震速報の発表が  
間に合わないことが  
あります。

地震計が  
はじめに来る弱い揺れをキャッチ



強い揺れが到達する前に  
すばやくお知らせ！



速報発表から  
強い揺れが始まるまで、  
数秒～十数秒ほどの  
大切な時間…



そのわずかな  
時間を有効的に  
使って身を  
守ろう



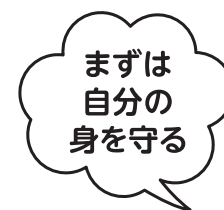
たとえば  
・危険なものから  
離れる  
・出入口を開ける  
・スリッパを履く など



緊急地震速報を聞いたら  
どうしたらいいの？



あわてずに、揺れがおさまるまで  
「しゃがむ」「かくれる」「じっとする」だよ。



まずは  
自分の  
身を守る



しゃがむ

かくれる

じっとする

屋内にいる場合

- 丈夫な机の下など安全な場所に避難し、頭を保護する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 無理に火を消そうとしない。

耐震性の低い住宅は、建物倒壊の  
危険があるので、外の安全な場所  
に逃げるのが命を守る行動になる  
場合もあります。

こんな場所にいたら

屋外

倒壊、落下物に注意

- ブロック塀の  
倒壊に注意。
- 看板や割れた  
ガラスの落下に注意。



鉄道・バス

しっかりとつかまる

- つり革、手すりに  
しっかりとつかまる。



エレベーター

すぐにおりる

- 最寄りの階に停止させ、  
すぐにおりる。



自動車運転中

ゆっくりと速度を落とす

- 急ブレーキはかけず、  
ゆるやかに速度をおとす。
- ハザードランプを  
点灯し、まわりの車に  
注意をうながす。





地震から身を守る練習をしよう。

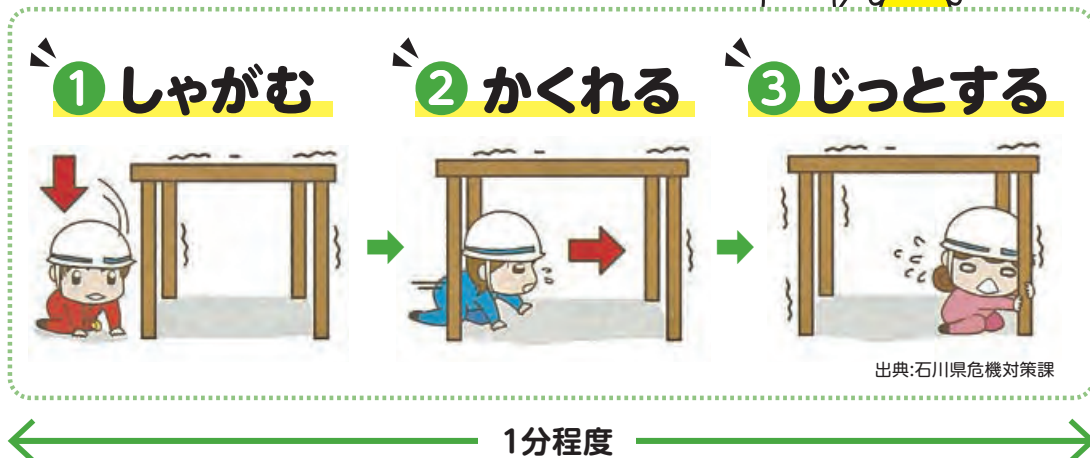


「シェイクアウト訓練」をしよう！

「シェイクアウト訓練」は、短時間でどこでも、誰でも、気軽に実施できる地震防災訓練です。地震を想定して、それぞれの場所で実践しましょう。

1分あれば練習できるよ

家でもやってみよう



出典:石川県危機対策課



能美市防災センター  
寺井町9番地1

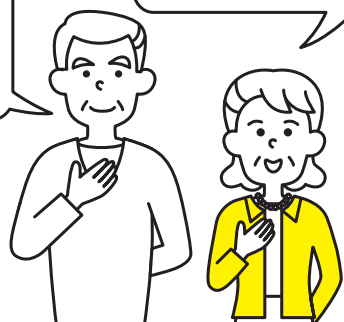
1階の「地震体験コーナー」では、激しい揺れの中で自分の身を守る体験ができます。また、過去に発生した地震やいろいろなタイプの揺れを体感でき、その「怖さ」を知ることができます。

能美市にも地震を体験できる施設があるんだよ



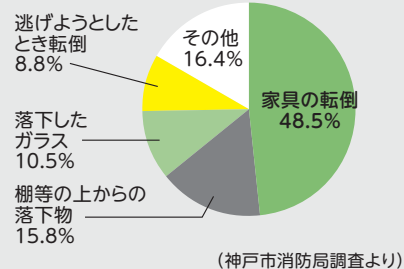
地震では、家具が倒れたり、棚から落ちたものでケガをする人が多いんだ

まずは自分がケガしないこと



豆知識

阪神・淡路大震災でケガをした人の原因

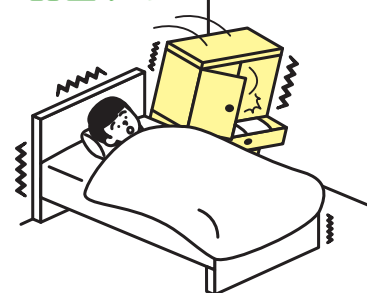


被害を減らすために家では何ができるかな？



家具を固定して、配置を考えて家の中を安全な場所にしよう。

家具を安全に配置する



寝室に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配慮する。

通路や出入り口に物を置かない



玄関など出入口や通路にはできるだけ物を置かず、逃げ道を確保。

窓ガラスに飛散防止フィルムをはる



窓はもちろん、食器棚や額縁などにも飛散防止フィルムをはる。

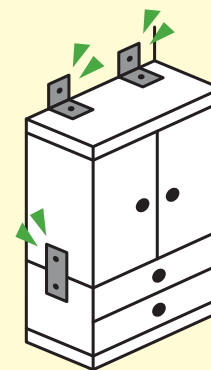


特に家具の固定が大切よ

家具の固定

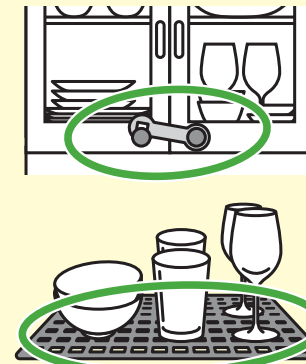
タンス・本棚

- L字金具などを使って柱や壁、鴨居に固定する。
- 上下2段になっているタンスは金具で上下を連結する。



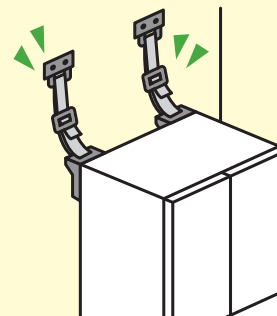
食器棚

- 扉に解放防止のための金具を取り付ける。
- 中の食器が飛び出さないように、棚板に滑り止めシートを敷くか、食器の手前に飛び出し防止枠を設ける。



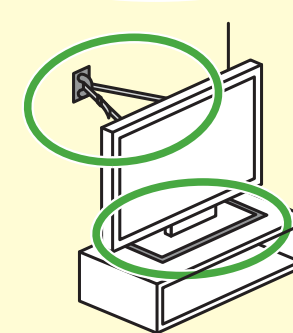
冷蔵庫

- 背面の取っ手にベルトをかけて柱などに固定する。



テレビ

- 付属ベルトでテレビ台に固定するか、金具とひもで柱などに固定する。
- 耐震粘着マットを敷くと、揺れへの抵抗力が高まる。



※製品専用ベルトなどが用意されている場合も多いので、取扱説明書をよく読んで活用しましょう。



強い揺れが始まるまでのわずかな時間

可能であれば

- 危険なものから離れる。
- 出入口を開けて逃げ道を確保。
- スリッパを履く など

## 緊急地震速報

# 地震発生

## 自分の命を守る

1～2分

揺れがおさまったら

- 火の元を確認し、出火していたら消火活動をする。
- 靴を履き、ガラスの破片等から足を守る。
- 家族の安全を確認する。
- 自分がいる建物が危険な場合は離れる。
- 津波や土砂災害の危険が予想される場所からすぐに離れる。

### 出火防止

- ガスの元栓を閉める。
- 電気のブレーカーを切る。

3分

周囲の安全を確認できたなら

### 隣近所の安否を確認

- 特にひとり暮らしの高齢者や要配慮者のいる家には積極的に声をかけて確認を行う。
- 余震に注意する。



ひとり暮らしのお年寄りが  
増えているから、  
声をかけて  
あげないとね

強い揺れがはじまったら、  
どうしたらいいの？

まずは自分の身を守る。揺れがおさまったら、周囲の安全を確認して隣近所の安否確認をしよう。

状況を確認しよう

### 情報収集

- テレビやラジオなどで正しい情報を確認する。



## 自分たちのまちを守る

5分

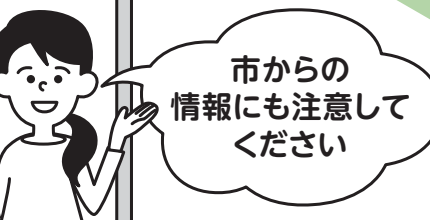
10分～数時間

- 隣近所と協力して、消火・救出活動をする。
- 家が倒壊する恐れがある場合は避難する。

～3日ぐらい



避難所が開設された場合、自主防災組織のみなさんによる避難所運営に協力する。



- 壊れた家には入らない。
- 生活必需品は自己備蓄でまかなう。
- 引き続き余震に注意する。

### ポイント

勤務先などで被災した場合  
その建物が安全ならば、  
その場にとどまることも  
「避難」です。

地震直後は、道路が混雑するほか、火災の発生や家屋の倒壊など二次災害に巻き込まれる恐れがあります。すぐに帰宅せずに、その場にとどまって様子をみることも安全行動のひとつです。